

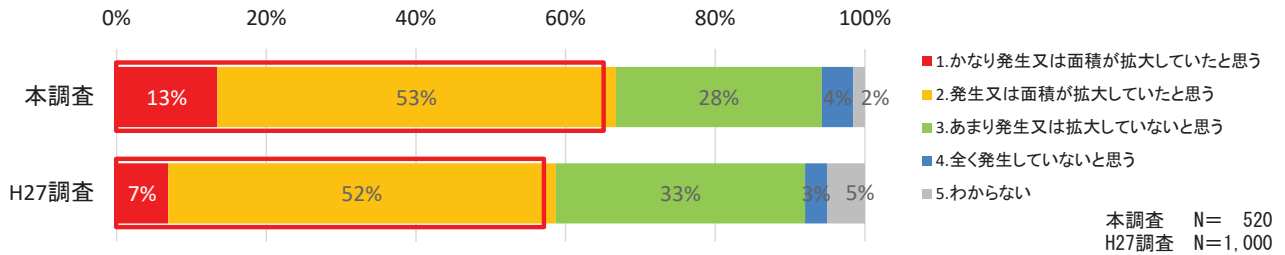
V 多面的機能支払交付金の効果の評価

【資源と環境】

<図表 V-1-1①>

(1) 農地の保安全管理 (遊休農地の発生防止・拡大抑制)

本交付金に取り組んでいないかった場合の遊休農地の発生有無



注)本調査とH27調査で有意差あり

遊休農地の発生防止や解消後の活用状況

①遊休農地発生防止のための活動

- 現地調査の実施により、全体で情報の共有化
- 担い手農家に対し、貸付希望のある農地の情報を提供
- 道水路の整備により、耕作条件を改善
- 鳥獣害対策の実施
- 共同による耕起、草刈り 等

②解消後の活用方法

- コスモス、菜の花等の景観形成作物の栽培
- 小学生の生き物調査水田として活用
- そば、もち米を地域共同で作付けし、収穫祭等を実施
- 都市住民との交流による田植えやさつまいもの栽培
- タラの芽を植えて販売 等

注)平成27年度調査:活動組織を対象としたアンケート調査を実施。調査対象組織数は1,000組織。

資料: 令和2年度 対象組織アンケート

V 多面的機能支払交付金の効果の評価

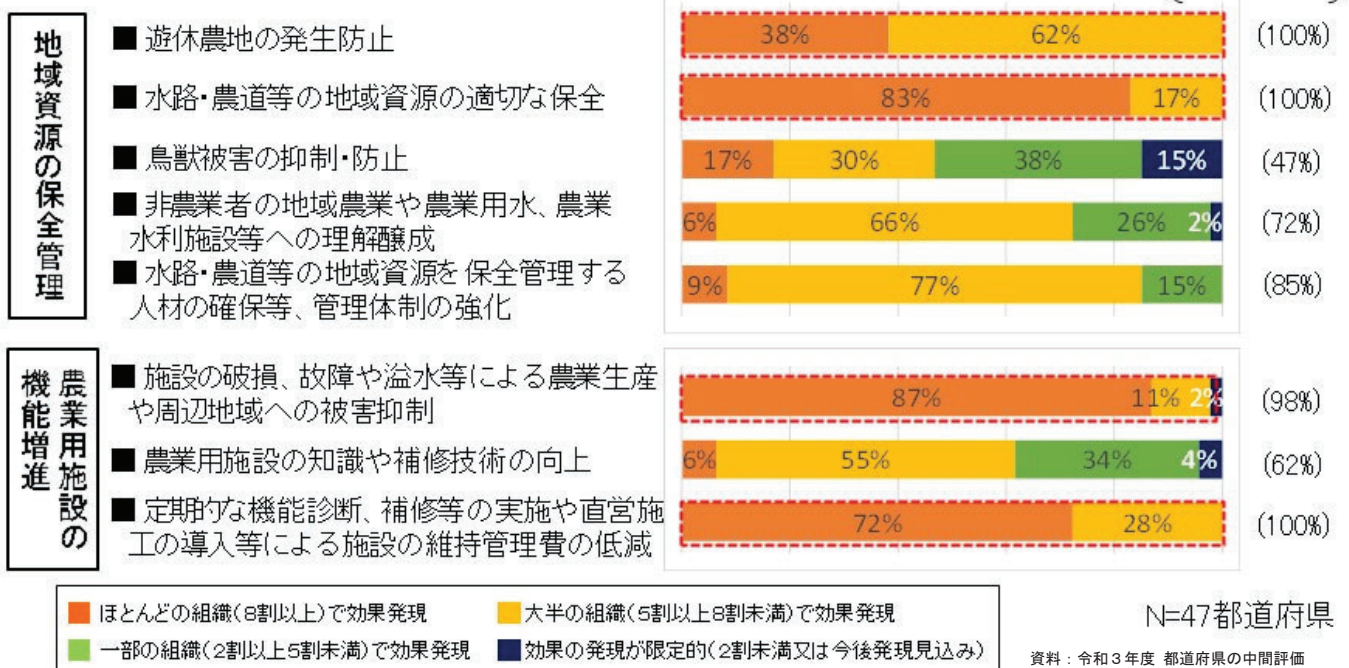
【資源と環境】

<図表 V-1-1②>

(1) 農地の保安全管理 (遊休農地の発生防止・拡大抑制)

(2) 農業用施設の機能維持

①-1 資源と環境に関する評価



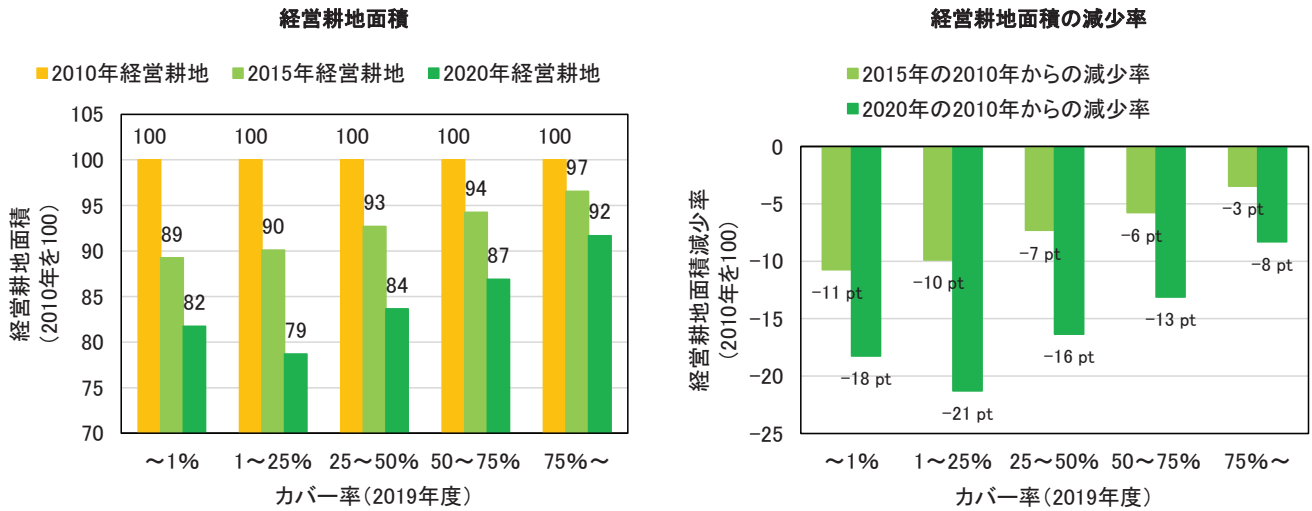
V 多面的機能支払交付金の効果の評価

【資源と環境】

<図表V-1-1③>

(1) 農地の保安全管理 (農地の適切な保安全管理)

経営耕地面積と市町村単位の多面的機能支払のカバー率との関係



※ 左図は、2010年における経営耕地面積を100とした2015年及び2020年の経営耕地面積の割合を、各カバール率の範囲に該当する市町村の平均値で示したものである。
 ※ 右図は、2010年からの減少率を示したものである。

資料：農林業センサス（2010年（平成22年）、2015年（平成27年）、2020年（令和2年））
 多面的機能支払カバール率（2019年度（令和元年度）実績）

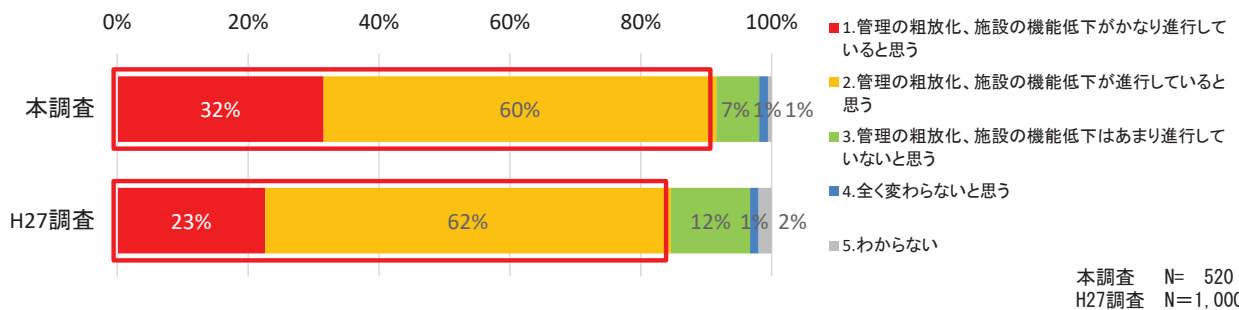
V 多面的機能支払交付金の効果の評価

【資源と環境】

<図表V-1-2①>

(2) 農業用施設の機能維持

本交付金に取り組んでいなかった場合の農業用施設の管理状況



注) 本調査とH27調査で有意差あり

資料：令和2年度 対象組織アンケート

V 多面的機能支払交付金の効果の評価

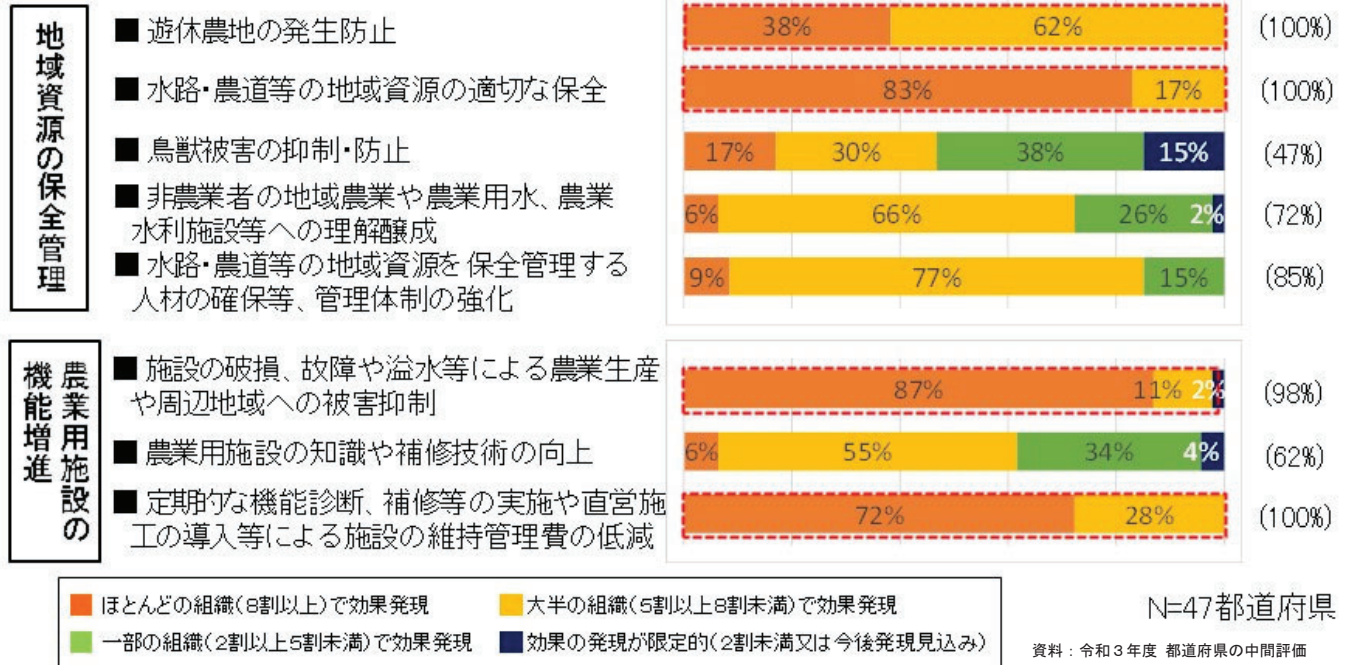
【資源と環境】

再掲

<図表V-1-2②>

- (1) 農地の保安全管理
(遊休農地の発生防止・拡大抑制)
- (2) 農業用施設の機能維持

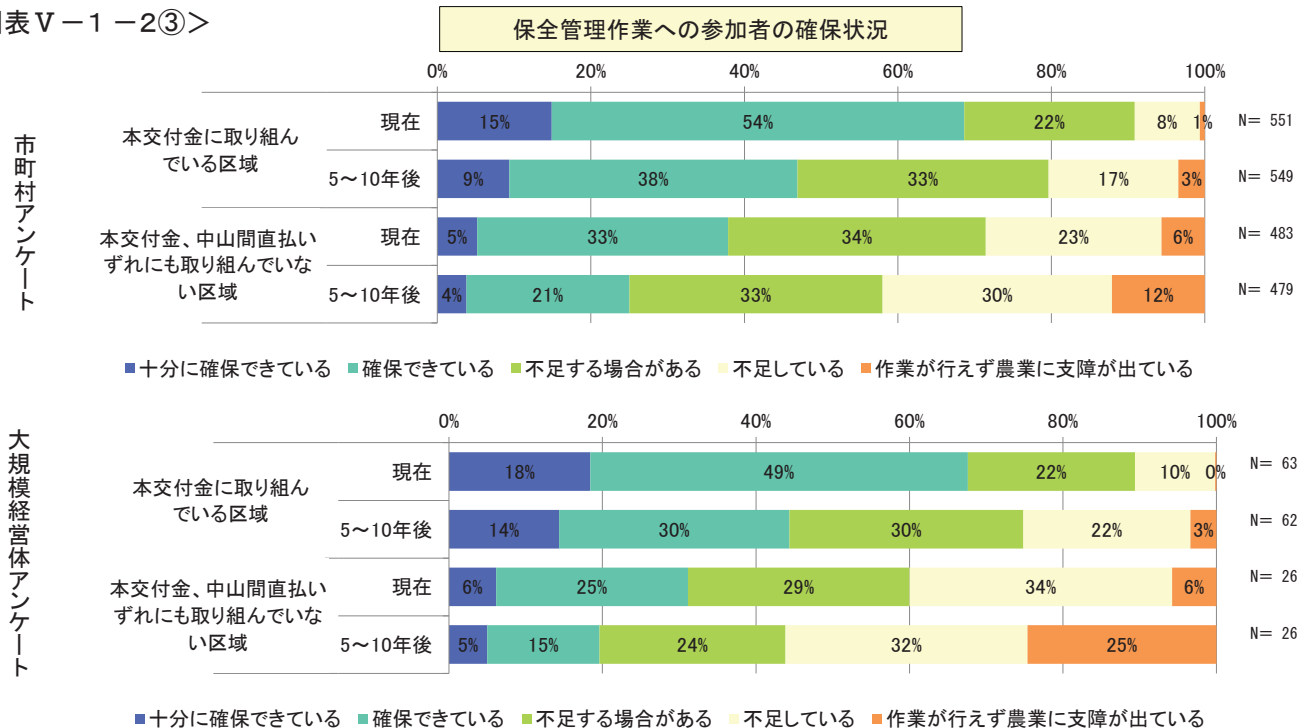
①-1 資源と環境に関する評価



V 多面的機能支払交付金の効果の評価

【資源と環境】

<図表V-1-2③>

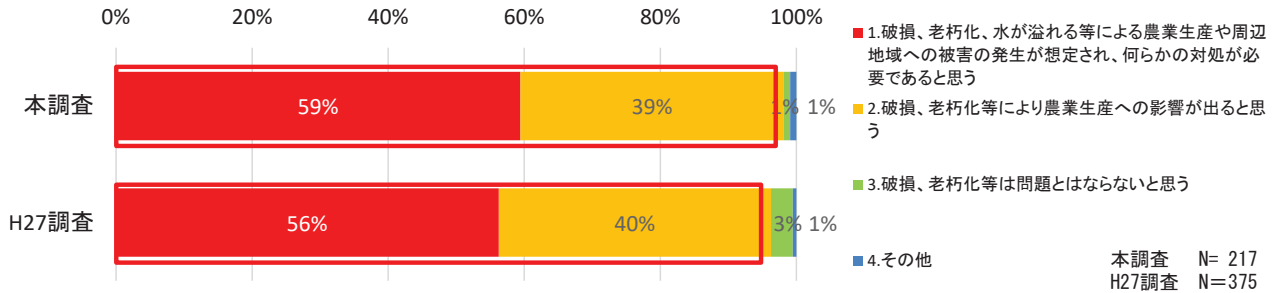


V 多面的機能支払交付金の効果の評価

【資源と環境】

<図表V-1-2④>

施設の長寿命化活動に取り組まなかった場合の10年後の見通し



注)上グラフでは、平成27年度調査の選択肢「3.破損、老朽化等は認められるが、農業生産への影響が出るほどではないと思う」、「4.破損、老朽化等は問題とならないと思う」を「3.破損、老朽化等は問題にならないと思う」と表記している。

資料：令和2年度 対象組織アンケート

V 多面的機能支払交付金の効果の評価

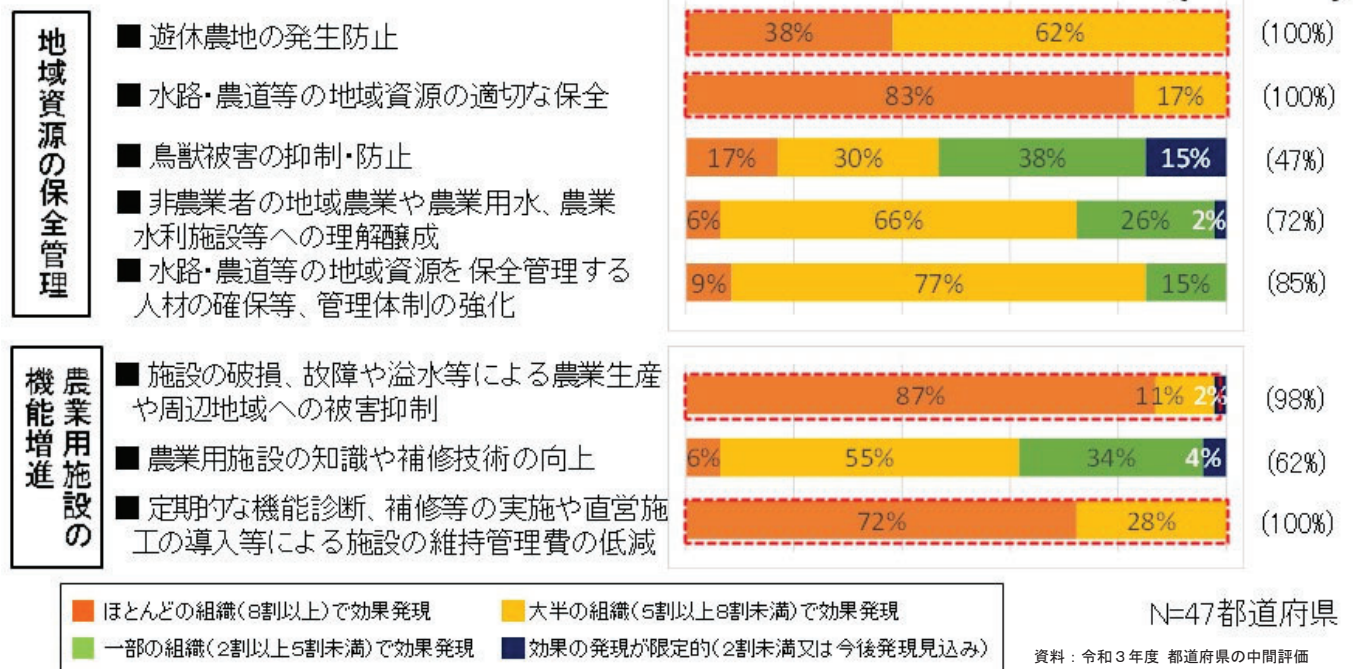
【資源と環境】

再掲

<図表V-1-2⑤>

- (1) 農地の保全管理
(遊休農地の発生防止・拡大抑制)
- (2) 農業用施設の機能維持

①-1 資源と環境に関する評価



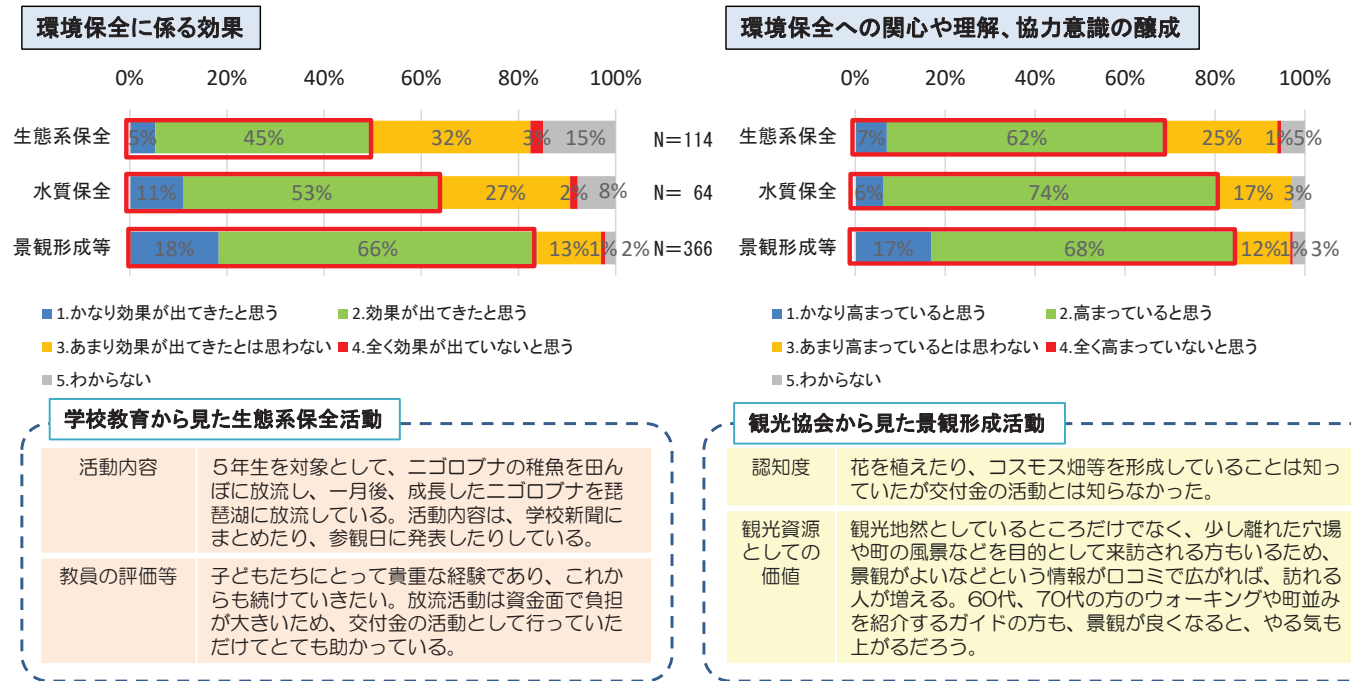
N=47都道府県

資料：令和3年度 都道府県の中間評価

V 多面的機能支払交付金の効果の評価

【資源と環境】

<図表 V-1-3①>

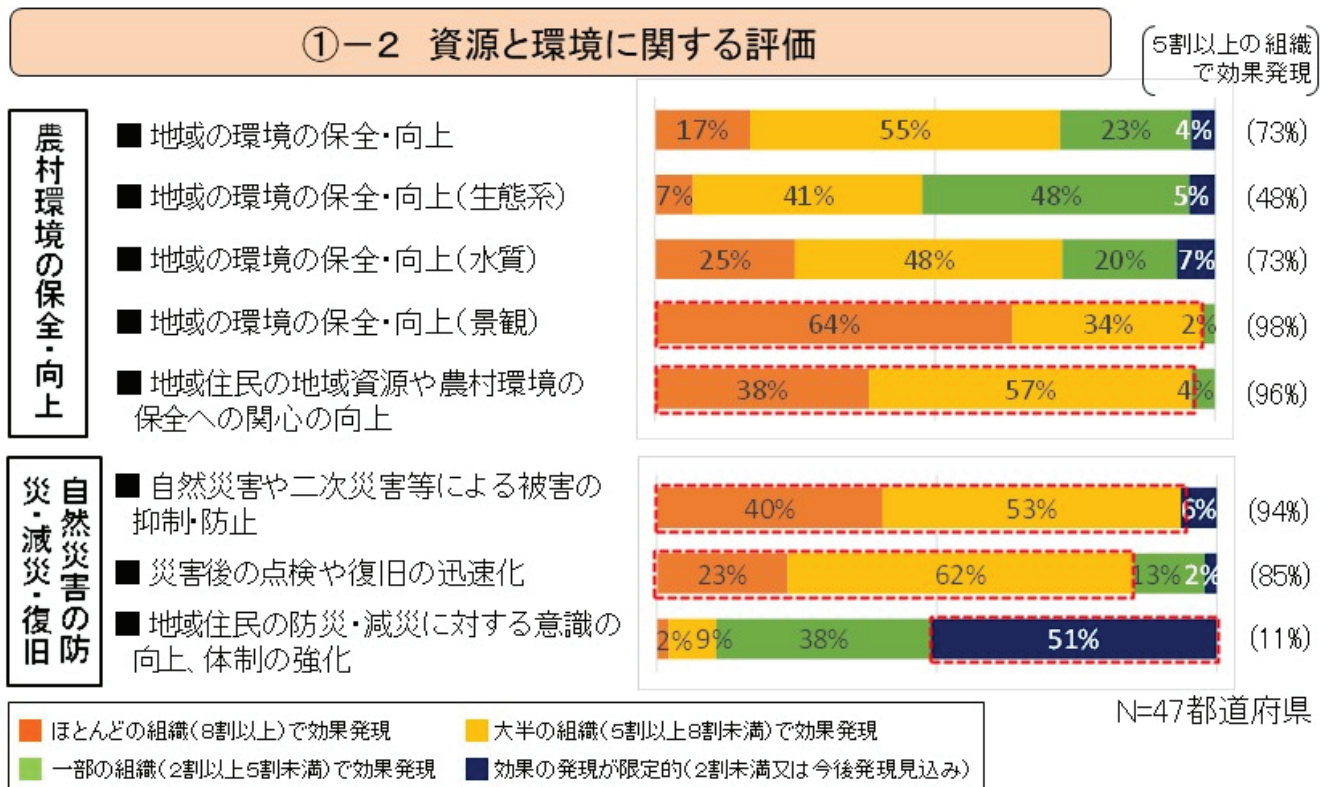


資料：令和2年度 対象組織アンケート

V 多面的機能支払交付金の効果の評価

【資源と環境】

<図表 V-1-3②>



資料：令和3年度 都道府県の中間評価

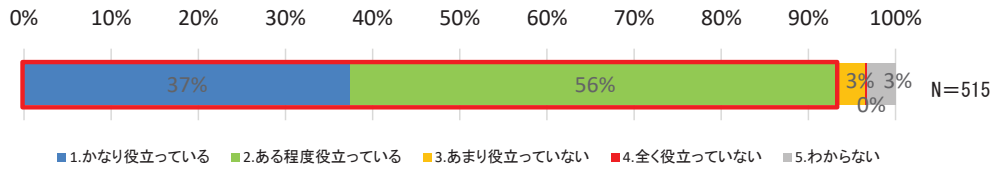
V 多面的機能支払交付金の効果の評価

【資源と環境】

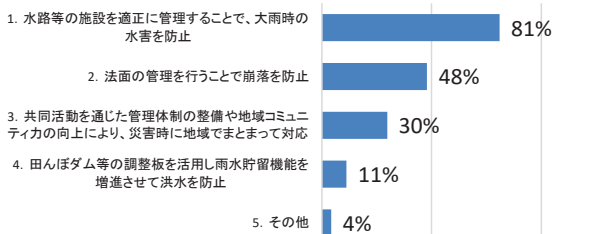
<図表 V-1-4①>

防災・減災・復旧に係る効果

排水路の泥上げやため池の点検・補修など、多面的機能支払交付金により継続的に施設の維持管理を行う活動が、異常気象時における被害減少や早期復旧に役立っていると思いますか。



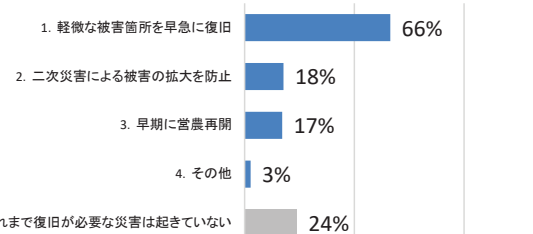
《防災・減災の効果》



その他の内容

- 情報収集能力が向上し、被害情報が早期に集約可能な体制となっている。
- 親子活動を通じて雨害の被害について話し合うことが出来ている。
- 地元消防団と協力して土のうを積む作業を実施。
- 大雨の時、夜間の水の取り入口の水止を実施。

《復旧の効果》



その他の内容

- 昨年は応急処置、今年は復旧工事を実施。
- 2019年10月の台風19号で流出した大量の稲わらの片付けを実施
- 地域住民の土木技術の向上。

資料：令和2年度 対象組織アンケート

V 多面的機能支払交付金の効果の評価

【資源と環境】

<図表 V-1-4②>

再掲

①-2 資源と環境に関する評価

(5割以上の組織で効果発現)

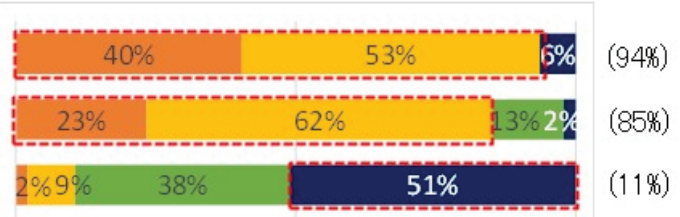
農村環境の保全・向上

- 地域の環境の保全・向上
- 地域の環境の保全・向上(生態系)
- 地域の環境の保全・向上(水質)
- 地域の環境の保全・向上(景観)
- 地域住民の地域資源や農村環境の保全への関心の向上



自然災害の防

- 自然災害や二次災害等による被害の抑制・防止
- 災害後の点検や復旧の迅速化
- 地域住民の防災・減災に対する意識の向上、体制の強化



■ ほとんどの組織(8割以上)で効果発現 ■ 大半の組織(5割以上8割未満)で効果発現
 ■ 一部の組織(2割以上5割未満)で効果発現 ■ 効果の発現が限定的(2割未満又は今後発現見込み)

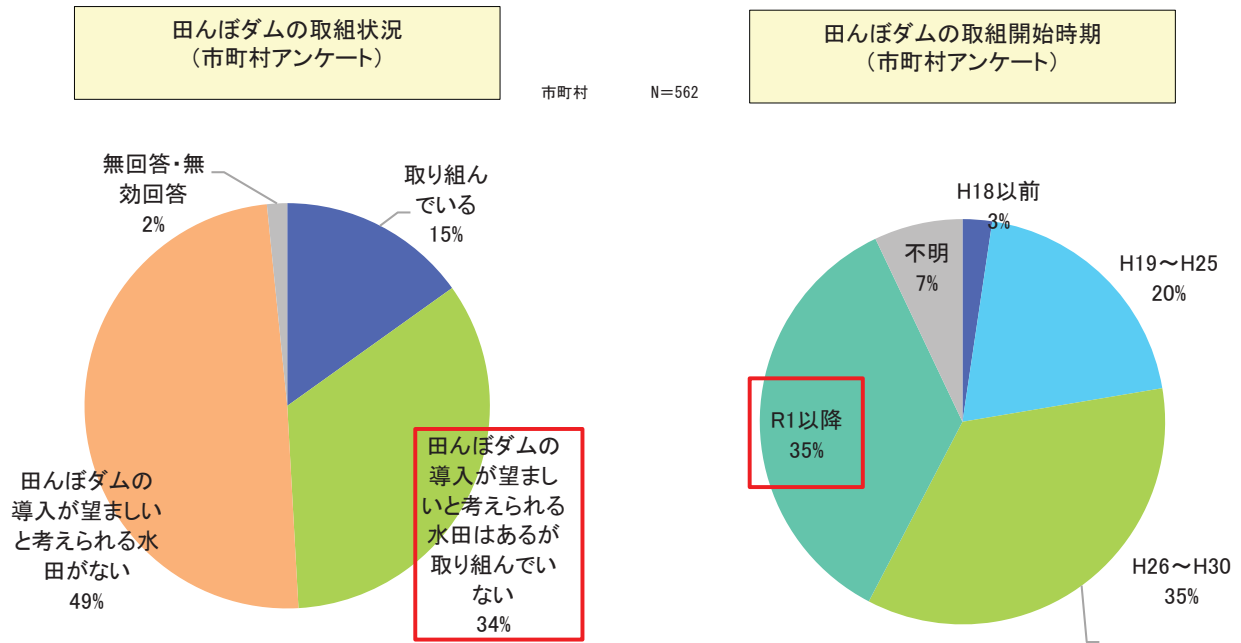
N=47都道府県

資料：令和3年度 都道府県の中間評価

V 多面的機能支払交付金の効果の評価

【資源と環境】

<図表V-1-4③>

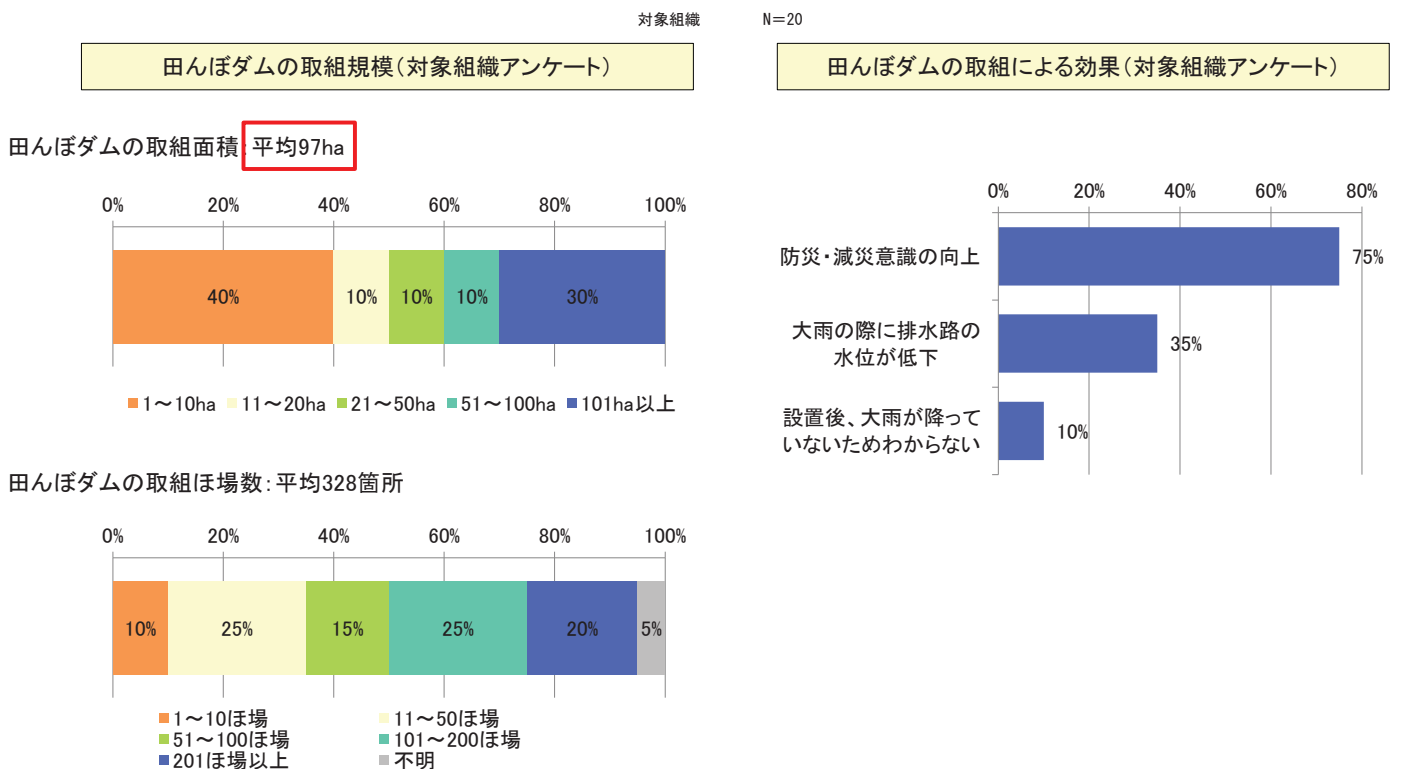


資料：令和3年度 市町村アンケート

V 多面的機能支払交付金の効果の評価

【資源と環境】

<図表V-1-4④>



資料：令和3年度 対象組織アンケート